



## 西脇市ひとり親家庭アンケート ～結果をお知らせします～

令和4年

ひとり親家庭の生活の状況やニーズを把握するために実施したアンケート調査結果をお知らせします。

▽調査対象：児童扶養手当受給資格世帯（351世帯）

▽調査期間：令和4年8月3日～令和4年10月31日

▽調査方法：現況届の案内にアンケートを同封。現況届受付時に窓口で回収。

▽回収数：319件（回収率：90.9%）



### 結果の概要

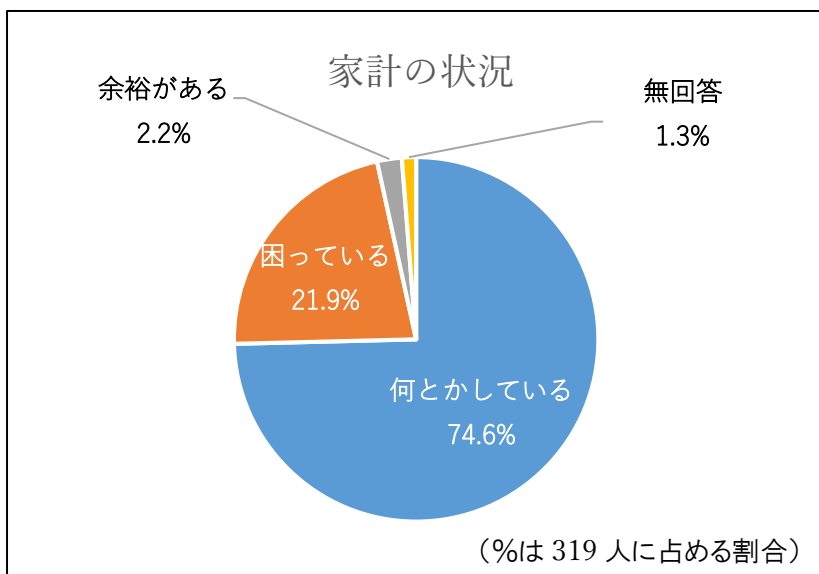
◇就労形態は、「正社員」が4割以上、「パート・アルバイト」「派遣」もほぼ同じ。

◇家計の状況は、「何とかしている世帯」が7割以上、「困っている世帯」が2割を超えている。

◇子どもについての悩みは、「教育・進路」が3割以上、次いで、「健康・発達」「子どもの情緒面」

◇必要だと感じる支援は、①手当・給付金 ②休業補償 ③子どもの学習支援 ④物資（食料や生活用品の支給） ⑤子どもの預け先・居場所など

### 結果の詳細

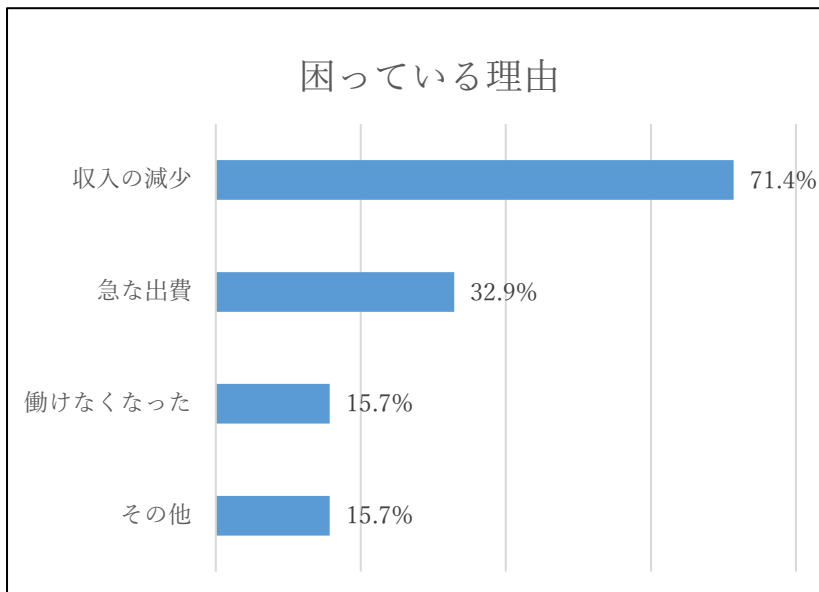


### ▼ 家計の状況について

「困っている世帯」が21.9%、「何とかしている世帯」が74.6%と、昨年と同様に厳しい状況がうかがえました。

「困っている世帯」の主な原因としては、「収入の減少」が71.4%、「急な出費」が32.9%、「働けなくなった」が15.7%でした。

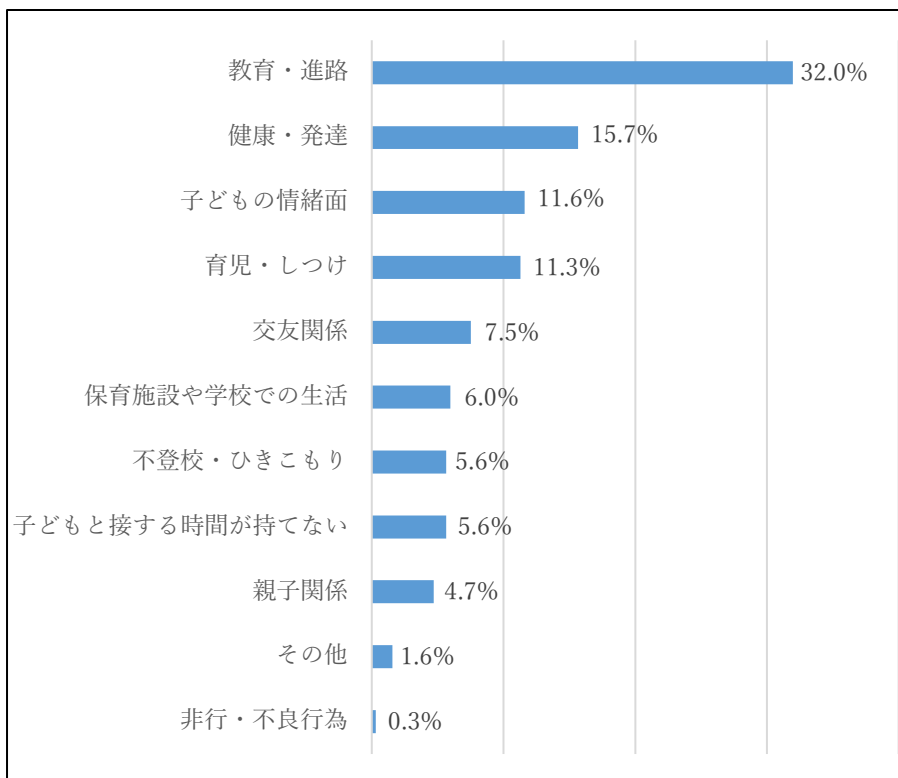
必要な支援については、物価の高騰や収入が安定するまでの生活支援や子どもの進学・教育費用の支援などを希望する方が多くありました。



◎西脇市では仕事や子育て、生活一般に関する相談窓口を設置しています。

また、子どもの進学資金の貸付や、親の就職に役立つ資格取得支援もありますので、お気軽にご相談ください。

## 子どもの悩みについて（悩みがある方のみ 複数回答）



（%は 319 人に占める割合）

### ▼ 子どもの悩みについて

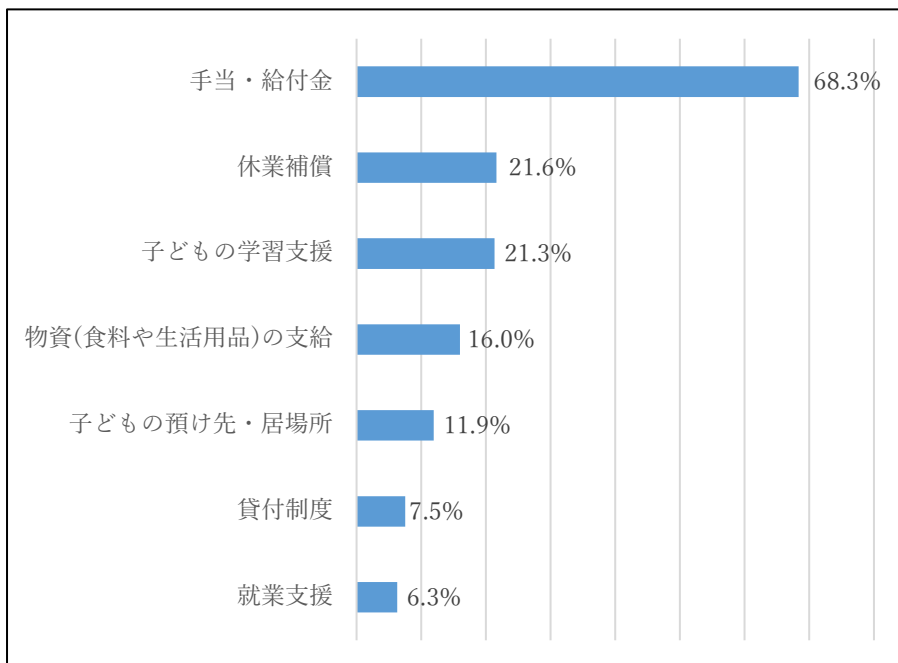
半数以上の方が、お子さんについての悩みを持っており、その内、「教育・進路」が32%と最も多く、次いで「健康・発達」が15.7%、「子どもの情緒面」が11.6%、「育児・しつけ」が11.3%となっています。

また、昨年と比べて、「子どもの発達」、「情緒面」、「交友関係」、「不登校」で悩んでいる方が増えています。

◎ 西脇市では、母子・父子自立支援員や家庭児童相談員、保健師、子育てコンシェルジュが、こども福祉課に常勤していますので、相談事や心配事があれば、いつでもご相談ください。



## 必要だと感じる支援（上位7つ 複数回答）



（%は 319 人に占める割合）

### ▼ 必要だと感じる支援について

必要だと感じる支援は、「手当・給付金」が68.3%、「休業補償」が21.6%、「物資の支給」が16%と経済的支援を必要とする方が多くみられました。

また、「子どもの学習支援」が21.3%で、子どもの進学・教育の費用に関して、支援を求める声が多くありました。

◎ 子どもの進学のための貸付金や給食費・学用品の一部を援助する就学援助など、別紙の制度・相談窓口Q&Aを参考にご覧ください。



今後の支援の参考とさせていただきます。ご協力ありがとうございました。

